

# 工事仕様書

I 工事概要		
1. 工事場所	大分県	
2. 敷地面積	m	
3. 工事建物の概要		
1) 建物名称	(用途: )	
2) 構造・階数	造(一部 造) 地上 階建、地下 階、PH 階	
3) 延床面積	m <sup>2</sup> ( )	
4) 付属建物		
5. 工事種別	増築・改修・耐震補強	
5. 工事内容		
II 建築改修工事仕様		
1. 共通仕様		
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修仕様」という)により、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様」という)による		
2. 特記仕様		
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する		
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かないものは、※印の付いたものを適用する		
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する		
(3) 特記事項に記載の[...]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す		
(4) 特記事項に記載の[...]内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す		
(5) ◎印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)に基づく「環境物品の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月25日変更閣議決定)」に定める特定調達品目における判断の基準(特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準)を満たすものを示す		
(6) 関係法令等の改正により(条例を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合にはその対応等について、監督職員と協議すること		
(7) 形状寸法の単位は特記なきがきりミリメートルとする		
章	項目	
1 一般共通事項	1 適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 令和4年版)</li> <li>建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
	2 工事実績情報データベース(CORINS)への登録	※適用する [1.1.4]
	3 書類の書式	「工事提出書類一覧表(建築工事)」にて施設整備課指定書式の有する書類に [1.1.5]
	4 法令等の適用区分	施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算 [1.1.2] 風圧力 風速(Vo= )m/s 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) 積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表( ) 適用工種 <ul style="list-style-type: none"> <li>ALCパネル(外壁、屋根) ・ 押出成形外板(外壁) ・ 外壁石張(乾式)</li> <li>長尺金属板葺 ・ 折板葺 ・ アルミ笠木</li> <li>ガラスブロック ・ シート防水(機械式) ・ 屋上緑化システム</li> <li>( )</li> </ul>
	5 電気保安技術者	※適用する [1.3.3]
	6 別契約の関連工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気設備工事 ・ 機械設備工事</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>施工範囲 ・ 図示 ・ 本工事と同一</li> <li>施工図等 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける</li> </ul>
	7 施工条件	※標仕1.3.5(1)以外の施工条件については、現場説明書による ・ 敷地内での喫煙は喫煙エリアを設置し、他の場所では喫煙してはならない ・ 敷地内において喫煙してはならない
	8 発生材の処理等	※現場説明書による ・ 構外搬出適切処理 [1.3.12]
	9 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について次により保険に付す 保険の種類 ・ 火災保険 ※建設工事保険 ・

10 材料の品質等	
11 環境への配慮	
12 石綿含有建材の調査	

(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能他、通常有す (1.4.2) べき品質及び性能を有するものとする

(2) 商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける

(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする

(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない

- 品質及び性能に関する試験データを整備していること
- 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること
- 安定的な共有が可能であること
- 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること
- 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
- 販売、保守等の営業体制を整えていること

(5) 製造業者に関する資料の提出を求める材料

床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無取縮モルタル、無取縮グラウト材、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、セラミックタイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整剤、防水剤、アルミニウム製建具(コンクリート系下地及び鉄骨下地)、樹脂製建具(コンクリート系下地及び鉄骨下地)、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ機構、自閉式上吊り引き戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバヘッドドア、ガラス、現場発泡断熱材、フリアークセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鉄線製ふた

本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するとともに、次の1)から4)を満たすものとする

- 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボードその他の木質建材、UV樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、7つ7つ't'及び'f'nを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する
- 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する
- 接着剤は可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する
- 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次の通りとする

規制対象外品

- 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
- 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
- 第三種品
- 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
- 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

石綿含有建材  
 本工事に使用する材料については、石綿を含有しないものとする

調査 [1.5.1]

・ 石綿含有建材の事前調査  
 工事着手に先立ちあらかじめ関連法令に基づき石綿含有建材の事前調査を行う  
 貸与資料( )

・ 分析による石綿含有建材の調査  
 分析対象 7'f'n'f't、7'f't、7'f'n'f't、7'f'n'f't、7'f'n'f't、7'f'n'f't

材料名	定性分析		定量分析	
	JIS A 1481-1又は-2	JIS A 1481-3又は-4		
・	・	箇所	・	箇所
・	・	箇所	・	箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル  
 採取場所 ・ 図示 ・

13 技能士	
14 化学物質の濃度測定	
15 完成図等	
16 設計G L	
17 既存建物との取合い	
18 工事写真	
19 近隣との折衝	
20 文化財その他埋蔵物	
21 施工調査	

○印の付いたものを適用する [1.7.2]

適用工事種類	技能検定の作業の種類
仮設工事	・ とび作業
防水改修工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスファルト防水工</li> <li>・ ウレタンゴム系塗膜防水工</li> <li>・ アクリルゴム系塗膜防水工</li> <li>・ セメント系防水工</li> <li>・ 合成ゴム系シート防水工</li> <li>・ FRP防水工</li> <li>・ 塩化ビニル系シート防水工</li> <li>・ シーリング防水工</li> <li>・ 改質アスファルトシートトーチ工</li> </ul>
外壁改修工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左官作業</li> <li>・ タイル張り</li> <li>・ 建築塗装作業</li> <li>・ アクリルゴム系塗膜防水工</li> <li>・ 樹脂接着材注入施工</li> </ul>
建具改修工事	・ ビル用サッシ施工
内装改修工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鋼製下地工事</li> <li>・ プラスチック系床仕上げ工事</li> <li>・ ボード仕上げ工事</li> <li>・ 壁張作業</li> <li>・ 左官作業</li> <li>・ 大工工事</li> <li>・ タイル張り</li> <li>・ 内外装板金作業</li> </ul>
塗装改修工事	・ 建築塗装作業
耐震改修工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄筋施工</li> <li>・ 型枠施工</li> <li>・ コンクリート圧送工事</li> <li>・ 構造物鉄工</li> </ul>
ブロック工	・ コンクリートブロック工事
石工事	・ 石張り作業
植栽工事	・ 造園工事

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、報告すること [1.7.9]

測定はバッシン型採取機器により行う

着工前の測定 ・ 行う

測定対象室 ・ 図示 ・

測定箇所数 ・ 図示 ・

報告の様式等については、現場説明書による

※ 現場説明書による [1.9.1~3] [表1.9.1]

※ 図示 ・ 設計G L = 現状G L

工事中、取合い部その他本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は原形に復する

※ 標準仕様書1.2.4(4)により整備する工事写真については次による  
 『営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編』  
 『解体工事編 平成30年版』国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

・ 住民または近隣住民への説明会の開催 ・ 広報による周知 ・

文化財保護法第94条による届出対象区域 [1.1.12]

・ 対象区域内 ・ 対象区域外  
 上記対象区域内における試掘調査に必要な資機材及び労務等を提供する

施工数量調査 [1.6.2]

調査項目	・ 防水改修	・ 外壁改修	・
調査範囲	・ 図示	・	・
調査方法	・ 打診及び目視による	・	・
既存部分の破壊を行った場合の補修方法	・ 図示	・	・

2 仮設工事	
5 監督職員事務所	
6 工事用水	
7 工事用電力	
土工事	

1 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]

2 足場等 [2.2.1][表2.2.1]

3 既存部分の養生 [2.3.1]

4 仮設間仕切り [2.3.2][表2.3.1]

種別	材質	仕上
・ A種	・ せつこうボード厚9.5両面張り グラスM充填厚さ( ) 合板厚9片面張り グラスM充填厚さ( )	・ 片面塗装
・ B種	・ せつこうボード厚9.5片面張り 合板厚9片面張り せつこうボード厚9.5(内表面)合板厚9(外表面)	・ 片面塗装
・ C種	・ シート張り	—
・ 仮設扉	・ 合板張り木製扉程度	・

5 監督職員事務所 [2.4.1]

※設けない ・ 設ける

面積規模 ( ・ 10 ・ 20 ・ 35 ・ 65 ・ 100) m<sup>2</sup>程度

備品

- ・ 机 ( ) ・ いす ( ) ・ 打ち合わせ机 ( )
- ( ) 内は数量
- ・ 書棚 ( ) ・ パソコン ( )
- ・ プリンター ( ) ・ 電話 ( ) ・ FAX ( )
- ・ ( )

監督職員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁、天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り
屋根	塗装溶融鉛めっき銅板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

6 工事用水

構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※利用できない

7 工事用電力

構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※利用できない

1. 埋戻し及び盛土 [3.2.3] (表3.2.1)

材料及び工法 材料( ) 工法( ) (3.2.3) (表3.2.1)

種別 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種

C種の場合(発生場所)  
 (連絡先)  
 (運搬 ・ 発生原因者側 ・ 本工事 km)

2. 建設発生土の処理 [3.2.5]

※ 現場説明書による

・ 構外指示の場所 受入施設名 ( )

受入場所 ( )

受入場所での処置(・敷きならし ※たい積 )

搬出距離 ( ) km

処分費 ・ 有償 ・ 無償

上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する

・ 構内指示の場所(・敷きならし ・ たい積 )

・ 構外搬出適切処理(搬出調書等を提出する)

3 防水改修工事	1 共通事項	改修用ドレン (POAS、POASI、POD、POD1、POS、POS1、POXの場合) 取付方法等は、ルーフィング類の製造所の仕様による	6 改質アスファルトシート防水	絶縁断熱工法のルーフトレンドレン周りと立上がり部周辺の断熱材の張り間違い位置 ・ 図示 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定	S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ・ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 S-M2またはS1-M2の立上がり部の工法 ・ 接着工法 (立上がり面のシート厚さ ・ 1.5mm ・ ) ・ 機械式固定工法 防水層の種類 (屋内防水)	10 とい	[3.8.2][3.8.3]	種別	材種	径	施工箇所	備考	
	2 降雨等に対する養生方法 (とい共)	・ 改修標仕3.1.3(5)(7)~(9)による [3.1.3]		絶縁工法の種類 (屋内防水)				工法	種別	施工箇所	保護層 平場の保護材の塗り厚さ 立上がり部の保護材の塗り厚さ	たてどい ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 配管用鋼管 ・ スチール鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(軟)	SUS304
	3 既存防水の処理	既存保護層の撤去 [3.1.4][3.2.3][3.2.4][3.2.6] ・ 行う (範囲 ・ 図示 ・ ) ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲 ・ 図示 ・ ) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う (範囲 ・ M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X)		防水層の種類 (屋内防水)				・ P1E ・ E-1 ・ P2E ・ E-2	・ 設ける ( ・ 図示 ・ ) ・ 設けない	・ PIS ・ S-C1	・ 7mm以下	と受け金物 材種 ・ 改修標仕表3.8.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの) ・ ステンレス製 形状 ・ 市販品 (とい径100以下) ・ 25×4.5mm以上 (とい径100を超えるもの) 取付間隔 ・ 改修標仕表3.8.2による	
	4 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 [3.2.6] ・ 図示 POS工法及びPOS1工法 (機械式固定工法)の既存保護層を撤去し、防水層を非撤去とした立上がり部等の処理 ・ 改修標仕3.2.6(4)(g)①~③による ・ 補修 ( ) 設備機器架台、配管受部、バラベットの貫通パイプ周り、手すり・丸環の取付部、塔屋出入口等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ・ 監督職員と協議する		新設防水層の種類 (既存：屋根露出防水) [3.4.2][3.4.3]				工法	種別	施工箇所	断熱材	備考	固定金具の材質及び寸法形状 ・ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ ルーフィングシート 設置数量 ・ ルーフィングシート 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・ 行う ( ・ 図示 ・ ) ・ 行わない S-F1、S1-F1の場合のプレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り ・ 行う ( ・ 図示 ・ ) ・ 行わない 機械式固定方法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法
	5 アスファルト防水	新規防水層の種類 (既存：屋根保護防水) [3.3.2]~[3.3.5] 工法		種別				施工箇所	絶縁用シート	・ P2A ・ A-1 ・ A-3 ・ A-2 ・ PIB ・ B-1 ・ B-3 ・ B-2 ・ P2AI ・ AI-1 ・ AI-3 ・ AI-2 ・ PIBI ・ BI-1 ・ BI-3 ・ TIBI ・ BI-2	・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 高日射反射率防水の適用 [ ] ・ あり ・ なし M3AS、POAS、M3AS1、M4AS1、POASIにおける脱気装置及び改修用ドレン 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない M3AS1、M4AS1、POASIにおける防湿層 ・ 設ける ・ 設けない 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標仕表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分	材料構成による区分	厚さ
8 塗膜防水	9 シーリング	11 アルミニウム製笠木	[3.9.2][3.9.3]	断熱材の種類及び厚さ 種類 JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレン断熱材bA (スチ層付き) 厚さ ・ 25mm ・ 50mm 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標仕表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分	材料構成による区分	厚さ	mm以上	既存金物の取付け ・ 図示 ルーフトレンドレンの取付け ・ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する					
				部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標仕表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分	材料構成による区分	厚さ	mm以上						
				平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 床タイル張り ・ 水下60mm以上 立上がり部の保護方法 ・ 乾式保護材 業系系パネルI類 厚さ ( ) mm 幅 ( ) mm ・ れんがが押え ( ・ JIS R 1250 ) ・ コンクリート押え ・ モルタル押え (屋内) 新設防水層の種類 (既存：屋根露出防水)	工法	種別	施工箇所	断熱材	備考				
				仕上塗料 種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 使用量 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 高日射反射率防水の適用 [ ] ・ あり ・ なし M3D、POD、POD1、M3D1、M4D1における脱気装置及び改修用ドレン 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標仕表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分	材料構成による区分	厚さ	mm以上	既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ・ 図示 ・ ) ・ 行わない 下地補修の工法 ・ 図示 板材折曲げ形の笠木の取付け方法 ・ 図示 棟上避雷導体システム ・ なし ・ あり 笠木の固定金具の工法等 1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法					
				部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標仕表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分	材料構成による区分	厚さ	mm以上						
7 合成高分子系ルーフィングシート防水	新設防水層の種類 [3.5.2]~[3.5.4][表3.5.1]~[表3.5.3]	工法	種別	施工箇所	断熱材	備考	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2][3.7.3][3.7.7][3.7.8] ・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ボンドブレイカー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標仕表3.7.1による 施工箇所						
9 塗膜防水	新設防水層の種類 [3.6.2][3.6.3]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料 種類	使用量	備考	高日射反射率防水の適用 [ ] ・ あり ・ なし ウレタン系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ 主材料の製造所の仕様 設置数量 ・ 主材料の製造所の仕様 新設防水層の種類 工法					
10 とい	新設防水層の種類 [3.6.2][3.6.3]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料 種類	使用量	備考	高日射反射率防水の適用 [ ] ・ あり ・ なし ウレタン系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ 主材料の製造所の仕様 設置数量 ・ 主材料の製造所の仕様 新設防水層の種類 工法					
11 アルミニウム製笠木	新設防水層の種類 [3.9.2][3.9.3]	種類	本体幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理	色合等	既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ・ 図示 ・ ) ・ 行わない 下地補修の工法 ・ 図示 板材折曲げ形の笠木の取付け方法 ・ 図示 棟上避雷導体システム ・ なし ・ あり 笠木の固定金具の工法等 1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法						

年度	設計年月	工事名	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面名称	縮尺
		RS.4		改修特記仕様書 (その2)	No. _____

4 外壁 改修 工事	1 ポリマーセメント スラリー	[4.2.4] 広がり速度 長さ変化率 引張り接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性 (収縮) (材齢28日) (材齢28日) (72時間) (劣化曲げ強さ) (cm/s) (%) (N/mm2) (N/mm2) (収縮) (N/mm2) 3以上 3以下 0.50以下 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00
	2 既調合モルタル	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等をあらかじめ工場において所定の割合に配合した材料とする
	3 外壁改修数量表	・ コンクリート打放し仕上げ面
	項目 工法 寸法等 単位 標名	
ひび割れ部 改修	エポキシ樹脂注入工法 0.2mm以上1.0mm未満 m シーリング工法 0.2mm未満 m Uカットシール材充填工法 m	
欠損部改修	充填工法(エポキシ樹脂等) 100×100×30 箇所 露出鉄筋等の処理なし 100×200×30 箇所 100×300×30 箇所 充填工法(エポキシ樹脂等) 100×100×30 箇所 露出鉄筋等の処理あり 100×200×30 箇所 100×300×30 箇所 充填工法(ポリアセト等) 箇所	
・ モルタル塗り仕上げ面	項目 工法 寸法等 単位 標名	
ひび割れ部 改修	エポキシ樹脂注入工法 0.2mm以上1.0mm未満 m シーリング工法 0.2mm未満 m Uカットシール材充填工法 m	
欠損部改修	充填工法(エポキシ樹脂等) 100×100×30 箇所 露出鉄筋等の処理なし 100×200×30 箇所 露出鉄筋等の処理あり 100×300×30 箇所 充填工法(ポリアセト等) 箇所 モルタル塗り替え工法 m <sup>2</sup>	
浮き部改修	・ アカビシ工法 部分エポキシ樹脂注入工法 一般部分 m <sup>2</sup> ・ アカビシ工法 全面エポキシ樹脂注入工法 指定部分 m <sup>2</sup> ・ アカビシ工法 全面モルタル注入工法 狭幅部分 m ・ 注入口付アカビシ工法 一般部分 m <sup>2</sup> ・ 注入口付アカビシ工法 部分エポキシ樹脂注入工法 指定部分 m <sup>2</sup> ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 全面モルタル注入工法 狭幅部分 m	
・ タイル張り仕上げ面	項目 工法 寸法等 単位 標名	
ひび割れ部 改修	エポキシ樹脂注入工法 0.2mm以上1.0mm未満 m シーリング工法 0.2mm未満 m Uカットシール材充填工法 m	
欠損部改修	充填工法(エポキシ樹脂等) 100×100×30 箇所 露出鉄筋等の処理なし 100×200×30 箇所 露出鉄筋等の処理あり 100×300×30 箇所 充填工法(ポリアセト等) 箇所 タイル張替え工法 m <sup>2</sup> タイル部分張替え工法 m <sup>2</sup>	
浮き部改修	・ アカビシ工法 部分エポキシ樹脂注入工法 一般部分 m <sup>2</sup> ・ アカビシ工法 全面エポキシ樹脂注入工法 指定部分 m <sup>2</sup> ・ アカビシ工法 全面モルタル注入工法 狭幅部分 m ・ 注入口付アカビシ工法 一般部分 m <sup>2</sup> ・ 注入口付アカビシ工法 部分エポキシ樹脂注入工法 指定部分 m <sup>2</sup> ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 全面モルタル注入工法 狭幅部分 m	
目地改修	目地ひび割れ改修工法 m 伸縮目地改修工法 m	

4-2	1 既存モルタル塗りの 撤去	・ 行う (・ 全面 ・ 図示) ・ 行わない [4.1.4][4.2.2][4.4.5][4.4.6]
2	ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.4]~[4.2.7] 工法の種類 びび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) ・ 自動式低圧 0.2以上1.0未満 ・ 200~300 ・ 130 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 ・ 50~100 ・ 40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 ・ 100~200 ・ 70 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 ・ 150~250 ・ 130 エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ・ コア採取を行う 採取部数の確認方法 ・ 長さ500mごと及びその端数につき1個 採取部の補修方法 ・ エポキシ樹脂等又は無収縮樹脂等埋め戻す ・ 図示 Uカットシール材充填工法 材料 ・ シーリング材 充填材料 ・ 1成分形又は2成分形シリコン系 シーリング材の上にポリアセト等の充填 ・ 行う ・ 行わない 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂
3	欠損部改修工法	・ 充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.9] 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 ・ 現場調査材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する(形状 ・ 図示 ・ ) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ・ 図示
4	浮き部改修工法	[4.1.4][4.2.2][4.4.10]~[4.4.15] 工法の種類 アカビシの本数(本/m2) 注入口の箇所数(箇所/m2) 注入量(ml/箇所) 一般部 指定部 一般部 指定部 ・ アカビシ工法 部分エポキシ樹脂注入工法 16 25 25 ・ アカビシ工法 全面エポキシ樹脂注入工法 13 20 12 20 25 ・ アカビシ工法 全面モルタル注入工法 13 20 12 20 50 ・ アカビシ工法 全面エポキシ樹脂注入工法 9 16 9 16 25 ・ 注入口付アカビシ工法 9 16 9 16 50 ・ 注入口付アカビシ工法 部分エポキシ樹脂注入工法 9 16 9 16 25 ・ 注入口付アカビシ工法 全面エポキシ樹脂注入工法 9 16 9 16 50 ・ 充填工法 25 ・ 樹脂塗替え工法 25 アンカーピンの材質 ・ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ねじり加工したもの 注入口付アンカーピンの材質 ・ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度 ・ 充填工法 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法 ・ 現場調査材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する(形状 ・ 図示 ・ ) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ・ 図示
4-3	1 共通事項	タイル張りの撤去 ・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲 [4.1.4][4.4.2] 撤去位置 ・ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ
2	ひび割れ部改修工法	改修箇所 ・ 既存タイル張り面 ・ 既存タイル撤去面(・ コンクリート面 ・ モルタル面) ・ 樹脂注入工法 工法の種類 びび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上1.0以下 ・ 200~300 ・ 130 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 ・ 50~100 ・ 40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 ・ 100~200 ・ 70 0.5以上1.0以下 ・ 150~250 ・ 130 エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ・ コア採取を行う 採取部数の確認方法 ・ 長さ500mごと及びその端数につき1個

3	欠損部改修工法	・ タイル部分張替え工法 [4.4.3][4.4.7][4.4.8] 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型シリコン樹脂系 ・ タイル張替え工法 張替え用材料 ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型シリコン樹脂系 ・ 張付けモルタル(・ 現場調査材料 ・ 既調合モルタル) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ・ 改修仕様表4.2.2による ・ 図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗の接着力試験 ・ 行う ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り 下地モルタル塗を行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒らし工法(改修仕様4.4.9(3)による) タイル張りの工法 ・ 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り ・ ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り モルタル塗を行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒らし工法(改修仕様4.9(3)による) シーリング材の種類 打ち継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ・ ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ・ 変成シリコン系
4	浮き部改修工法	[4.4.4][4.4.9]~[4.4.15] 工法の種類 アカビシの本数(本/m2) 注入口の箇所数(箇所/m2) 注入量(ml/箇所) 一般部 指定部 一般部 指定部 ・ アカビシ工法 部分エポキシ樹脂注入工法 16 25 25 ・ アカビシ工法 全面エポキシ樹脂注入工法 13 20 12 20 25 ・ アカビシ工法 全面モルタル注入工法 13 20 12 20 50 ・ 注入口付アカビシ工法 9 16 9 16 25 ・ 注入口付アカビシ工法 全面エポキシ樹脂注入工法 9 16 9 16 25 ・ 注入口付アカビシ工法 全面モルタル注入工法 9 16 9 16 50 ・ 充填工法 25 ・ 樹脂塗替え工法 25 アンカーピンの材質 ・ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ねじり加工したもの 注入口付アンカーピンの材質 ・ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度 ・ タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型シリコン樹脂系 ・ タイル張替え工法 張替え用材料 ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型シリコン樹脂系 ・ 張付けモルタル(・ 現場調査材料 ・ 既調合モルタル) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ・ 改修仕様表4.2.2による ・ 図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗の接着力試験 ・ 行う ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り 下地モルタル塗を行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒らし工法(改修仕様4.4.9(3)による) タイル張りの工法 ・ 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り ・ ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り モルタル塗を行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒らし工法(改修仕様4.4.9(3)による) シーリング材の種類 打ち継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ・ ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ・ 変成シリコン系
5	目地改修工法	[4.4.16] ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 (目地の位置及び寸法 ・ 図示 ・ )

6	タイルの形状、 寸法等	[4.4.2] 施工箇所 種類 形状 寸法(mm) 吸水率による区分 凹凸 役物 色 再生材料の適用 耐凍害性 耐滑り性 備考 I類 II類 III類 無ゆわ 有 無 標準 特注 有 無 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない
4-4	外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	[4.5.4] 1 既存塗膜等の除去、 下地処理及び 下地調整 ・ 薄付け仕上げ塗材 種類(呼び名) 仕上の形状 工法 吸放湿性 防火材料 ・ 厚付け仕上げ塗材 種類(呼び名) 仕上の形状 工法 吸放湿性 上塗り材 防火材料 ・ 複層仕上げ塗材 種類(呼び名) 仕上の形状 工法 上塗り材の種類 耐水性 防火材料 ・ 可とう形改修用仕上げ塗材 種類(呼び名) 仕上の形状 工法 上塗り材の種類 耐水性 防火材料 2 下地調整剤 ・ 下地調整剤(・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2) ・ ポリマーセメントモルタル 3 仕上げ塗材仕上げ 種類(呼び名) 仕上の形状 工法 吸放湿性 防火材料 ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 ・ 収付け ・ 砂ず肌 ・ さざ波 ・ ローラー塗り 外壁用仕上げ塗材の耐水性 ・ JIS A 6909の耐水性I種相当 下地準動線衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 吹付け工法の模様材の種類 (所要量 ・ 0.3kg/m2以上 ・ ) 外壁用仕上げ塗材の種類 (所要量 ・ 0.3kg/m2以上 ・ ) 4 マスチック塗材塗り 種類 ・ A種 ・ B種 (仕上げ材塗EP-G ・ B種 ・ A種) [4.6.2] 仕上げ形状 工法 5 外壁用塗膜防水材 塗り [4.1.5][4.7.2][4.7.3][表4.7.1] 種類(呼び名) 仕上の形状 工法 上塗り材の種類 耐水性 防火材料 ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 ・ 収付け ・ 砂ず肌 ・ さざ波 ・ ローラー塗り 外壁用仕上げ塗材の耐水性 ・ JIS A 6909の耐水性I種相当 下地準動線衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 吹付け工法の模様材の種類 (所要量 ・ 0.3kg/m2以上 ・ ) 外壁用仕上げ塗材の種類 (所要量 ・ 0.3kg/m2以上 ・ )

5 建具改修工事

Table with 4 columns: 1 改修工法, 2 防火戸, 3 防犯建物部品, 4 アルミニウム製建具, 5 網戸等, 6 樹脂製建具, 7 鋼製建具. Includes detailed specifications for repair methods, fire doors, security parts, aluminum fixtures, mesh screens, resin fixtures, and steel fixtures.

Table with 2 columns: 8 鋼製軽量建具, 9 ステンレス製建具, 10 木製建具, 11 建具用金物. Includes specifications for steel lightweight fixtures, stainless steel fixtures, wooden fixtures, and hardware.

Table with 2 columns: 12 自動ドア開閉装置, 13 自閉式上吊り引戸装置, 14 重量シャッター, 15 軽量シャッター. Includes specifications for automatic door openers, self-closing overhead sliding doors, heavy-duty shutters, and lightweight shutters.

Table with 2 columns: 17 オーバーヘッドドア, 18 ガラス, 19 ガラスフィルム, 20 鍵箱. Includes specifications for overhead doors, glass, glass film, and key boxes.

Project information form with fields for Year (年度), Design Year (設計年月), Project Name (工事名), Building Name (図面名称), Scale (縮尺), and No. Includes a specific project name '改修特記仕様書 (その4)' and scale 'No.'.

6 内装改修工事	1 改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取合天井、壁及び床の改修範囲 ・ 壁面より両面100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合天井の改修範囲 ・ 壁面より両面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の補修 ・ 既存のまま ・ 図示	[6.1.3]																																																																																																																																																																																																																																								
	2 既存床の撤去及び下地補修	ビニルシート等の撤去 ・ 仕上げ材のみ(接着剤とも) ・ 下地モルタルとも(図示 除去範囲すべて) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒らし工法 既存コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修表紙4章外壁改修工事による	[6.2.2]																																																																																																																																																																																																																																								
	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴うほかの構造体の補修 ・ 改修表紙4.3.10によるモルタル塗り ・ 全塗り厚25mmを超える場合の処置 ・ 図示	[6.3.2]																																																																																																																																																																																																																																								
	4 製材	・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用針葉樹製材 [6.5.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2級</td> <td></td> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2級</td> <td></td> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等</td> <td></td> <td>10%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td></td> <td>上小節</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>小節以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>間伐材の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用				2級		A種							2級		A種									B種				施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用				1等		10%以下									A種									B種				施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用	見え掛り面			上小節						見え掛り面以外			小節以上						施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用				1等															施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用				1等															施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用				1等															施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用				1等															施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用				1等													
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																																																																																																																																			
			2級		A種																																																																																																																																																																																																																																						
			2級		A種																																																																																																																																																																																																																																						
					B種																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																																																																																																																																			
			1等		10%以下																																																																																																																																																																																																																																						
					A種																																																																																																																																																																																																																																						
					B種																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																																																																																																																																			
見え掛り面			上小節																																																																																																																																																																																																																																								
見え掛り面以外			小節以上																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																																																																																																																																			
			1等																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																																																																																																																																			
			1等																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																																																																																																																																			
			1等																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																																																																																																																																			
			1等																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材の適用																																																																																																																																																																																																																																			
			1等																																																																																																																																																																																																																																								

8 内部間仕切り組及び床組	・ 間仕切り組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ・ 杉又は松 ・ 床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ・ 杉又は松	[6.5.6]
9 窓、出入口その他	・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ・ 吊元枠、水掛の下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉	[6.5.7]
10 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外(・ 25形 ・ 19形) 屋内(・ 19形 ・ 25形) ・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 野縁受け、吊り鉢及びバウチの間隔 ・ 900程度 周辺部の端からの間隔 ・ 図示 野縁の間隔 ・ 300程度 工法 1章 適用区分による風圧力の(・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法 既存の埋込インサート ・ 使用する ・ 使用しない ・ あと施工アンカーの引き抜き試験 試験箇所数 ・ 屋内の場合、当該階において3箇所 確認強度 ・ 吊り鉢受け等の間隔が900mm以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m <sup>2</sup> 以内の天井の場合は400N程度 ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ・ 図示 ・ 天井のふところ高が1.5m以下3.0m以下の場合 補強方法 ・ 標準仕様書(14.4.4)(8)による ・ 図示 ・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 補強方法 ・ 図示 ・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・ 図示 補強方法 ・ 図示	[6.6.2]~[6.6.4]
11 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 ・ 改修標仕[6.7.3]によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ・ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ・ 標準仕様書14.5.4(5)による	[6.7.3][表6.7.1]
12 ビニル床シート	種類の記号 ・ FS(複層ビニル床シート) ・ マーブ柄 ・ 柄物 接合部の処理 ・ 熱溶接工法	[6.8.2][6.8.3]
13 ビニル床タイル	種類 ・ TT(単層ビニル床タイル(接着型)) ・ FT(複層ビニル床タイル(接着型)) ・ KT(コホシジョビニル床タイル) ・ FDA(置敷きビニル床タイル(置敷き型)) ・ FDB(置敷きビニル床タイル(置敷き型))	[6.8.2][6.8.3]
14 特殊機能床材	種類 ・ 帯電防止床シート ・ 帯電防止床タイル ・ 耐動荷重性床シート ・ 防滑性床シート ・ 防滑性床タイル	[6.8.2]
15 ビニル幅木	材質の種類 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ・ 60 ・ 75 ・ 100 厚さ(mm) ・ 1.5以上	[6.8.2]
16 カーペット敷き	・ タイルカーペット パイルの形状 ・ ノーフアイ ・ カットパイル ・ カットノーフ併用 色柄 ・ 無地 ・ 柄物 タイルカーペットの敷方 平場 ・ 市松敷き ・ 模様流し 階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し 見切り、押え金物 材質( ) 種類( ) 形状等 ・ 図示	[6.9.2][6.9.3]

8 合成樹脂塗床	種類 ・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 ・ 厚膜型塗床材 ポリアル樹脂系塗床 ・ 薄膜型塗床材	施工箇所 工法 仕上げの種類 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ 平滑仕上げ	[6.10.2][6.10.3]
9 フローリング張り	・ 単層フローリング(フローリングボード1等) 工法 ・ 釘留め工法(・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法 樹種 ・ なら 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 単層フローリング(フローリングボード1等) 樹種 ・ 厚さ(mm) ・ 大きさ 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 複合フローリング 工法 ・ 釘留め工法(・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法 樹種 ・ なら 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 接着工法の場合の不陸緩和剤 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地のまま、ワックス塗り	[6.11.2]~[6.11.6]	
10 畳敷き	種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種(畳床 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N) 下地の種類 ・ 標準仕様書(表12.6.1)による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地(ノンプロン) 図示 ・ 衝撃緩和型畳(畳表 ・ C1 ・ C2)	[6.12.2]	
11 せこうボード、その他ボード及び合板張り	木質系セメント板 種類 ・ 硬質木毛セメント板(HM) ・ 中質木毛セメント板(MM) ・ 普通木毛セメント板(NM) ・ 硬質木片セメント板(HF) ・ 普通木片セメント板(MF)	[6.13.2][6.13.3][表6.13.1]	
	繊維強化セメント板 種類 ・ けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通タイプ 0.8FK ・ 化粧けい酸カルシウム板(タイプ2)	[6.13.2][6.13.3]	
	火山性ガラス質複層板 種類 ・ 火山性ガラス質複層板	[6.13.2][6.13.3]	
	繊維板 種類 ・ ミディアルデンチファイバーボード(MDF)	[6.13.2][6.13.3]	
	・ ハードボード ・ スクワードボード(無処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板(RN) ・ 研磨板(RS) ・ 内装用化粧ハードボード(DI) ・ フェノール樹脂ハードボード(処理) ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板(RN) ・ 研磨板(RS) ・ 外装用化粧ハードボード ・ イソレーションボード ・ A級(ジュレーションボード)(A-1B) ・ 天井仕上げ材 ・ 内装仕上げ材	[6.13.2][6.13.3]	

年度	設計年月	工事名	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面名称	縮尺	No. _____
		RS.4		改修特記仕様書(その5)		



7 塗装 改修 工事	1 材料	防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする [7.1.3] ・ 次の箇所を除き防火材料とする 箇所 ( )	6 焼付塗装	<table border="1"> <tr> <th>素材</th> <th>焼付種別</th> <th>仕上げ</th> <th>コート</th> <th>ペーク</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 7M204</td> <td>・ ファ素樹脂</td> <td>・ ツリット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 珪酸樹脂</td> <td>・ マリット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 7A10樹脂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ステンレス</td> <td>・ ファ素樹脂</td> <td>・ ツリット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 珪酸樹脂</td> <td>・ マリット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 7A10樹脂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼板</td> <td>・ ファ素樹脂</td> <td>・ ツリット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 珪酸樹脂</td> <td>・ マリット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 7A10樹脂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	素材	焼付種別	仕上げ	コート	ペーク	部位	・ 7M204	・ ファ素樹脂	・ ツリット				・ 珪酸樹脂	・ マリット				・ 7A10樹脂					・ ステンレス	・ ファ素樹脂	・ ツリット				・ 珪酸樹脂	・ マリット				・ 7A10樹脂					・ 亜鉛めっき鋼板	・ ファ素樹脂	・ ツリット				・ 珪酸樹脂	・ マリット					・ 7A10樹脂						2 煙突用ライニング材 撤去 (高圧洗浄除去工法)	<p>範囲 ・ 図示 仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 最下部灰出し口部分及び煙突頂部の隔離養生を行う 最下部は洗浄水を受けるために防水シートを設置する</li> <li>2) 頂部より高圧洗浄機を挿入し、煙突用7A10材を湿潤化させながら撤去作業を行う</li> <li>3) 撤去後は撤去面に飛散防止材を吹付ける</li> <li>4) 最下部で高圧洗浄機により撤去が困難な場所は手はつりにて撤去する</li> <li>5) 石綿を含んだ洗浄水は固化化した上で密封処理及び梱包処理を行う</li> <li>6) セキュリティゾーン等の養生材を適切に除去する</li> </ol> <p>撤去後の撤去面の調査は適切に行う 石綿の処理は、関係法令に基づき適切に処理する セキイダンは、関係法令に基づき適切に設置する 煙突の頂部、最下部の撤去コナットは石綿が付着したものととして適切に処分する</p>	3 外断熱改修工事	<p>断熱材の種類 [9.2.2]~[9.2.4] 断熱材の厚さ(mm) ・ 外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存外壁の処置</td> <td>既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 第4章外壁改修工事による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工法</td> <td>1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不陸等の下地調整</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱材の施工</td> <td>・ 断熱材製造所の仕様による ・ ・ 外装材製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通気層の有無</td> <td>・ あり ( mm) ・ なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外装材の外壁への取付け</td> <td>・ 図示 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>笠木の施工</td> <td>・ 第3章7A10製笠木による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	防火性能	備考	既存外壁の処置	既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 第4章外壁改修工事による		工法	1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法		不陸等の下地調整	・		断熱材の施工	・ 断熱材製造所の仕様による ・ ・ 外装材製造所の仕様による		通気層の有無	・ あり ( mm) ・ なし		外装材の外壁への取付け	・ 図示 ・		笠木の施工	・ 第3章7A10製笠木による		4 断熱・防露 改修工事	<p>断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521Iに基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材 ・ A種I ・ A種IH ・ 吹付厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示 ・ 窓周りの断熱材補修部分、8-7の周りの床板等、部分的に後張りとしなければならない箇所</p> <p>断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521Iに基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材にせっこうボード等を張付けた後 ・ 使用する</p>	5 屋上緑化改修工事	<p>植栽基盤及び材料 [9.7.2]~[9.7.5][9.7.9] ・ 屋上軽量緑化システム 芝及び地被類の種類等 ・ 図示 ・ 見切材、舗装材、排水孔、7A10材等 ・ 図示 ・ 工法 1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する 種類 ・ 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯保証の期間 ・ 引渡しの日から1年</p>	6 透水性アスファルト 舗装改修工事	<p>適用範囲 構内の歩行者用通路 [9.7.2]~[9.7.5][9.7.9] 既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示 ・ 路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生ケラックン [9.7.5] ・ ケラックン ・ 切込み砂利</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 7A10層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 工法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・ 普通ケラックン [9.7.5] ・ 高炉セメントB種 [9.7.5] ・ 7A10セメントB種 ・ 生石灰 ( ・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 ( ・ 特号 ・ 1号) 添加量 kg/m2 (目標CBR ・ 3以上 ) 目標CBRを満足する添付量の確認方法 ・ 安定処理土のCBR試験 ・ ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60kg/m2以上 ・ 厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 ・ 引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 ・ 透水係数 ・ 1.5×10cm/sec以上 ・</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固めの試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・ 図示 ・</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示	・ 凍上抑制層	・ 再生ケラックン [9.7.5] ・ ケラックン ・ 切込み砂利	・ 図示	・ 7A10層	・ 砂	・ 図示	8 路盤材料 (改修仕様表9.7.3による種別) ・ ケラックン ・ 再生ケラックン [9.7.5] ・ 粒度調整砕石 ・ 再生粒度調整砕石 [9.7.5] ・ ケラックン鉄鋼スラグ [9.7.5] ・ 粒度調整鉄鋼スラグ [9.7.5] ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [9.7.5] 舗装の鋼製 ・ 図示 ・ 開粒度7A10混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ・																																																																																																																																															
	素材	焼付種別		仕上げ	コート	ペーク	部位																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 7M204	・ ファ素樹脂		・ ツリット																																																																																																																																																																																																																																																						
		・ 珪酸樹脂		・ マリット																																																																																																																																																																																																																																																						
		・ 7A10樹脂																																																																																																																																																																																																																																																								
・ ステンレス	・ ファ素樹脂	・ ツリット																																																																																																																																																																																																																																																								
	・ 珪酸樹脂	・ マリット																																																																																																																																																																																																																																																								
	・ 7A10樹脂																																																																																																																																																																																																																																																									
・ 亜鉛めっき鋼板	・ ファ素樹脂	・ ツリット																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 珪酸樹脂	・ マリット																																																																																																																																																																																																																																																									
・ 7A10樹脂																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																								
既存外壁の処置	既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 第4章外壁改修工事による																																																																																																																																																																																																																																																									
工法	1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法																																																																																																																																																																																																																																																									
不陸等の下地調整	・																																																																																																																																																																																																																																																									
断熱材の施工	・ 断熱材製造所の仕様による ・ ・ 外装材製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																									
通気層の有無	・ あり ( mm) ・ なし																																																																																																																																																																																																																																																									
外装材の外壁への取付け	・ 図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																									
笠木の施工	・ 第3章7A10製笠木による																																																																																																																																																																																																																																																									
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 凍上抑制層	・ 再生ケラックン [9.7.5] ・ ケラックン ・ 切込み砂利	・ 図示																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 7A10層	・ 砂	・ 図示																																																																																																																																																																																																																																																								
2 下地調整	塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1]~[7.2.7] ・ 塗替え面積30% ・ 図示 ・ ・ 既存錆止め塗料の鉛含有調査 (箇所) ( ) 下地調整 (新規) ・ 標準仕様書18.2.1素地ごしらえによる 下地調整 (塗替え)	9 環境 配慮 改修 工事	<p>1 石綿含有建材の 除去工事</p> <p>・ 石綿粉じん濃度測定 [9.1.1][9.1.3]~[9.1.5] 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキイダンの入口</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td></td> <td>集じん排気装置の排出口</td> <td>出口風速1m/s以下の位置</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td></td> <td>・ 施行区画周辺 ・ 敷地境界</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (7-1養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>調査方法 ・ JIS K 3850-IIに基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>ノゾルノズル径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 測定4</td> <td>・ 測定5</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 測定4</td> <td>粉じん相対濃度計 (7-1) 粉じん計、ホ-リケルホ-、繊維状粒子自動測定器</td> </tr> <tr> <td>・ 測定5</td> <td>(7A10) (7A10) (7A10) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </tbody> </table>	適用測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点	測定2		調査対象室外部の付近	計 点	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点	測定4		セキイダンの入口	計 点	測定5		集じん排気装置の排出口	出口風速1m/s以下の位置	測定6		・ 施行区画周辺 ・ 敷地境界	計 点	測定7	処理作業後 (7-1養生中)	処理作業室内	計 点	測定8	処理作業後	処理作業室内	計 点	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点	測定名称	ノゾルノズル径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	・ 測定4	・ 測定5	25	5	30	・	・	47	10	120	・	・	47	10	240	・	・				測定名称	測定方法	・ 測定4	粉じん相対濃度計 (7-1) 粉じん計、ホ-リケルホ-、繊維状粒子自動測定器	・ 測定5	(7A10) (7A10) (7A10) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	3 錆止め塗料塗り	<p>錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2][7.4.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料の種類</th> <th colspan="2">工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">鉄鋼面</td> <td rowspan="3">EP-G以外</td> <td>塗替え</td> <td>・ A種</td> <td>・ C種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛り</td> <td>・ A種</td> <td>・ A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-G</td> <td rowspan="3">塗替え</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛り</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">亜鉛めっき面</td> <td rowspan="3">EP-G以外</td> <td>塗替え</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>新規鋼製建具等</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>・ C種</td> <td>・ C種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-G</td> <td rowspan="3">塗替え</td> <td>・ C種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>新規鋼製建具等</td> <td>・ C種</td> <td>・ A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>・ C種</td> <td>・ A種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	塗装面		塗料の種類		工程の種類		鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	・ A種	・ C種	・	新規見え掛り	・ A種	・ A種	・	新規見え隠れ	・ A種	・ B種	・	EP-G	塗替え	・ A種	・ B種	・ C種	・	新規見え掛り	・ A種	・ B種	・ A種	新規見え隠れ	・ A種	・ B種	・ B種	亜鉛めっき面	EP-G以外	塗替え	・ A種	・ B種	・ C種	新規鋼製建具等	・ A種	・ B種	・ A種	塗替え	・ C種	・ C種	・	EP-G	塗替え	・ C種	・ B種	・ C種	・	新規鋼製建具等	・ C種	・ A種	・	塗替え	・ C種	・ A種	・	4 塗装	<p>[7.5]~[7.13]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>・ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>・ B種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ B種</td> <td>・ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 1種</td> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>・ B種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>・</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ 7A10樹脂系非水分散形塗料 (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>・</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>上塗り等級 級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき面</td> <td>・</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上塗り等級 級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・</td> <td>・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種</td> </tr> <tr> <td>・ つや有り合成樹脂エポキシペイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>・ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の木部</td> <td>・ B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>・ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の亜鉛めっき面</td> <td>・ A種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エポキシペイント塗り (EP)</td> <td></td> <td>・ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エポキシ模様塗料塗り (EP-T)</td> <td></td> <td>・ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 珪酸樹脂ニス塗り (UC)</td> <td></td> <td>・ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 7A10樹脂ニス塗り (OS)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 油性 ・ 水性</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td></td> <td>・ B種</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有り合成樹脂エポキシペイント塗り (コンクリート面、珪酸面、アスファ-面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗り替えの場合のみし止め ・ 改修仕様表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシ-とする ・ 合成樹脂エポキシペイント塗りの塗り替えの場合のみし止め ・ 改修仕様表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシ-とする ・ ・ 高日射反射率塗料塗り [9.7.5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th colspan="4">塗料その他</th> <th rowspan="2">塗付け量 (kg/m2)</th> </tr> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>屋根用</td> <td>2種</td> <td>・ 1級 ・ 3級</td> <td>塗料製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>高日射反射率塗料</td> <td>2種</td> <td>・ 2級</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下地調整 (改修仕様7.2.2) ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</p>	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	・ B種	・ A種	木部屋内	・ B種	・ B種	鉄鋼面	・ B種	・ B種 ・ A種	・ 1種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	・ A種	・ B種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	・ B種	・ B種	・ 2種	鉄鋼面	・	・ A種	・ 7A10樹脂系非水分散形塗料 (NAD)	鉄鋼面	・	・ A種	・ 耐候性塗料塗り (DP)	上塗り等級 級				亜鉛めっき面	・	・ A種		上塗り等級 級				コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種	・ つや有り合成樹脂エポキシペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	・ B種	・ A種 ・ B種		屋内の木部	・ B種	・ A種		屋内の鉄鋼面	・ B種	・ A種 ・ B種		屋内の亜鉛めっき面	・ A種	・ A種	・ 合成樹脂エポキシペイント塗り (EP)		・ B種	・ A種 ・ B種	・ 合成樹脂エポキシ模様塗料塗り (EP-T)		・ B種	・ A種 ・ B種	・ 珪酸樹脂ニス塗り (UC)		・ B種	・ A種 ・ B種	・ 7A10樹脂ニス塗り (OS)				・ 油性 ・ 水性				・ 木材保護塗料塗り (WP)		・ B種	・ A種 ・ B種 ・ A種	工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m2)	規格番号	規格名称	種類	等級	塗料塗り	JIS K 5675	屋根用	2種	・ 1級 ・ 3級	塗料製造所の仕様による			高日射反射率塗料	2種	・ 2級		5 フッ素樹脂塗装	<p>打放しコンクリート面保護工法 下塗り材 水性 浸透性吸水防止材 上塗り材 ・ 水性フッ素樹脂クリアー ・ 水性フッ素樹脂カラークリアー</p>
適用測定名称	測定時期		測定場所	測定箇所数																																																																																																																																																																																																																																																						
測定1	処理作業前		処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																																																																																						
測定2			調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																																																																																																																						
測定3	処理作業中		処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																																																																																						
測定4		セキイダンの入口	計 点																																																																																																																																																																																																																																																							
測定5		集じん排気装置の排出口	出口風速1m/s以下の位置																																																																																																																																																																																																																																																							
測定6		・ 施行区画周辺 ・ 敷地境界	計 点																																																																																																																																																																																																																																																							
測定7	処理作業後 (7-1養生中)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																																																																																							
測定8	処理作業後	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																																																																																							
測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																																																																																																																							
測定名称	ノゾルノズル径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 測定4	・ 測定5	25	5	30																																																																																																																																																																																																																																																						
・	・	47	10	120																																																																																																																																																																																																																																																						
・	・	47	10	240																																																																																																																																																																																																																																																						
・	・																																																																																																																																																																																																																																																									
測定名称	測定方法																																																																																																																																																																																																																																																									
・ 測定4	粉じん相対濃度計 (7-1) 粉じん計、ホ-リケルホ-、繊維状粒子自動測定器																																																																																																																																																																																																																																																									
・ 測定5	(7A10) (7A10) (7A10) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																																																																																																									
塗装面		塗料の種類		工程の種類																																																																																																																																																																																																																																																						
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	・ A種	・ C種	・																																																																																																																																																																																																																																																					
		新規見え掛り	・ A種	・ A種	・																																																																																																																																																																																																																																																					
		新規見え隠れ	・ A種	・ B種	・																																																																																																																																																																																																																																																					
EP-G	塗替え	・ A種	・ B種	・ C種	・																																																																																																																																																																																																																																																					
		新規見え掛り	・ A種	・ B種	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																					
		新規見え隠れ	・ A種	・ B種	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																					
亜鉛めっき面	EP-G以外	塗替え	・ A種	・ B種	・ C種																																																																																																																																																																																																																																																					
		新規鋼製建具等	・ A種	・ B種	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																					
		塗替え	・ C種	・ C種	・																																																																																																																																																																																																																																																					
EP-G	塗替え	・ C種	・ B種	・ C種	・																																																																																																																																																																																																																																																					
		新規鋼製建具等	・ C種	・ A種	・																																																																																																																																																																																																																																																					
		塗替え	・ C種	・ A種	・																																																																																																																																																																																																																																																					
塗装の種類	塗装面	工程																																																																																																																																																																																																																																																								
		塗替え	新規																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	・ B種	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																							
	木部屋内	・ B種	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																							
	鉄鋼面	・ B種	・ B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 1種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	・ A種	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																							
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	・ B種	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 2種	鉄鋼面	・	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 7A10樹脂系非水分散形塗料 (NAD)	鉄鋼面	・	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 耐候性塗料塗り (DP)	上塗り等級 級																																																																																																																																																																																																																																																									
	亜鉛めっき面	・	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																							
	上塗り等級 級																																																																																																																																																																																																																																																									
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種																																																																																																																																																																																																																																																							
・ つや有り合成樹脂エポキシペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	・ B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																							
	屋内の木部	・ B種	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																							
	屋内の鉄鋼面	・ B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																							
	屋内の亜鉛めっき面	・ A種	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 合成樹脂エポキシペイント塗り (EP)		・ B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 合成樹脂エポキシ模様塗料塗り (EP-T)		・ B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 珪酸樹脂ニス塗り (UC)		・ B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 7A10樹脂ニス塗り (OS)																																																																																																																																																																																																																																																										
・ 油性 ・ 水性																																																																																																																																																																																																																																																										
・ 木材保護塗料塗り (WP)		・ B種	・ A種 ・ B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																																																																							
工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m2)																																																																																																																																																																																																																																																					
	規格番号	規格名称	種類	等級																																																																																																																																																																																																																																																						
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用	2種	・ 1級 ・ 3級	塗料製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																					
		高日射反射率塗料	2種	・ 2級																																																																																																																																																																																																																																																						

年度	設計年月	工事名	R5.4	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面名称	縮尺	No. _____
					改修特記仕様書 (その7)		

### 建築改修工事仕様書 [大分県版]

#### 1 一般事項

1 適用範囲 この仕様書は、公共建築改修工事標準仕様書、建築改修工事監理指針、改修特記仕様書を補足するものとする

2 一般共通事項

- (1) 工事は、請負者の責任管理により実施し、品質管理及び安全管理のほか、関連工事との調整、建物管理者への連絡等、工事全体への協調を図ると共に、建物の運営をできるだけ妨げることないようにする
- (2) 工事の計画及び施工にあたっては、施工範囲に対する工事管理区分を監督職員及び建物管理者と事前に十分打合わせの上、工事に伴う事故防止や環境保全に留意し管理に必要な事項を明確にする
- (3) 施工に先立ち現場の状況を十分調査し確認を行う。確認の結果、改修方法等が現場の状況にそぐわない場合は、改修方法等を検討し監督職員と協議する
- (4) 施工後では確認できないか、または確認が困難なものについては、あらかじめ確認、記録の方法等を定め監督職員と協議する
- (5) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する
- (6) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する
- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する
- ◎印と○印の付いた場合は、共に適用する

#### 2 外部改修工事

##### 1 下地処理

A-1 屋根・床・根廻り等 (高圧水洗工法)

工程 1. 水洗い・清掃 (高圧水洗 12MPa, 12L/min)  
・扇型ノズルの場合、ノズル先端と壁との間隔は20cm以内、噴射時間は1.0m/分以下とする

A-2 外壁・軒裏等 (高圧水洗工法)

工程 1. 水洗い・清掃 (高圧水洗 20MPa, 18L/min)  
・ノズル先端と壁との間隔は20cm以内、噴射時間は1.5m/分以下とし、ノズルはトルネード型を使用する

A-3 外壁・軒裏等 (サンダー工法)

工程 1. 劣化膜の除去 (サンダーケレン等)  
2. 水洗い・清掃 (高圧水洗 12MPa, 12L/min) 作業方法は上記A-1参照  
3. 引張試験 (JIS A 6916) 各面2ヶ所を原則とする

A-4 外壁等 (塗膜はく離剤工法: 軟化剤法)

工程 1. はく離剤塗布 (0.5kg/m<sup>2</sup>以上、24h以上放置)  
2. 劣化膜の除去 (ケレン金ペラorサンダーケレン)  
3. 水洗い・清掃 (高圧水洗 12MPa, 12L/min) 作業方法は上記A-1参照  
4. 引張試験 (JIS A 6916) 各面2ヶ所を原則とする

A-5 内部床等: 張物下地調整 (サンダーケレン)

工程 (Pタイルor長尺塩ビシート撤去後)  
1. サンダーケレン (接着剤まで撤去の上、平坦になるまで行う)  
2. 清掃 (掃除機)

A-6 内部壁等: モルタル・タイル撤去清掃

工程 (モルタルorタイル撤去後)  
1. 清掃 (ブローアorほうき)

A-7 内外部壁・天井等: 旧塗り仕上げ面掻き落とし (リシン面等) (ケレン金ペラ)

工程 1. ケレン金ペラ (リシン面等)  
2. 清掃 (ブローアorほうき)  
3. 外壁のみ、引張試験 (JIS A 6916) 各面2ヶ所を原則とする

A-8 外部床・立上り等: 防水下地処理 (補修後)

工程 (床) (立上り)  
1. 目地処理 1. ポリマーセメントペースト塗 1.5kg/m<sup>2</sup>以上 (◎0.9程度)  
2. ポリマーセメントペースト塗 1.5kg/m<sup>2</sup>以上 (◎0.9程度)

##### 2 下地調整 (仕上塗材仕上げ)

1 適用範囲 外部補修後の塗装の塗り替え工事に適用する。

2 材料 下地調整材は、JIS A 6916 の規格品とする。

種類	呼び名	塗厚(mm)	はけ塗り	※吹付	こて塗り
セメント系下地調整材	1種 下地調整塗材 C-1	0.5~1.0	○	○	○
	2種 下地調整塗材 C-2	1.0~3.0	○	○	○
合成樹脂エマルジョン系下地調整材	下地調整塗材 E	0.5~1.0	○	○	○

仕上塗材 [4.2.2] は下記により、主材は、JIS A 6909 による防水形に適合する規格品とする。  
※防水形複層塗材E ※防水形単層塗材E ※可とう改修塗材E

3 工法 (1) 旧塗膜と新規塗膜との整合性、下地モルタルの強度等について監督職員と協議を行う。  
(2) 下地処理を行い、仕上げに支障のない下地を確保する。この時、引張試験を行う。  
(3) 下地調整材を施工する。下地調整材は仕上げに支障のないものとする。  
(4) 仕上塗材は [4.2.2] による。  
コンクリート打放し面の下地調整材は、上記下地調整材 C-2 のこて塗り (2mm) とする。

4 確認 表面の接着強度引張試験 (JIS A 6909, 6916) は下記による。コンクリート打放し面には適用しない。  
(1) 試験方法は、接着力試験機による引張強度の測定による。  
(2) 試験体試験は各面2箇所、計8箇所で行い、試験体の位置は監督職員の指示による。  
(3) 結果の判定は、引張強度が0.7N/mm<sup>2</sup> (上記防水形塗材Eの場合) 以上の場合を合格とする。不合格の場合、再度下地処理を行い不良箇所について再試験を行う。

#### 3 各部の改修方法

・Cはコンクリート面の改修方法を図示したものです。  
・Mはモルタル面での改修方法を図示したものです。  
・Tはタイル面の改修方法を図示したものです。

・C-1. ひび割れ部改修 (自動式低圧エポキシ樹脂注入工法)

工程  
・貫通クラックでない場合  
1. 汚れを除去・エアークリー (ひび割れに沿って幅50mm程度)  
2. 樹脂注入器具取付 (ひび割れ部の中心で、200mm~300mm間隔)  
3. ひび割れ部をシール (幅30mm、厚さ2mm程度)  
4. エポキシ樹脂注入 (低圧注入: 0.4N/mm<sup>2</sup>以下)  
5. 仕上げ清掃  
・貫通クラックの場合  
1. 樹脂注入の反対側 上記1工法  
2. 樹脂注入の反対側 上記3工法  
3. 樹脂注入側 上記1工法  
4. 樹脂注入器具取付 上記2工法  
5. ひび割れ部をシール 上記3工法  
6. エポキシ樹脂注入 上記4工法  
7. 仕上げ清掃

・T-1. ひび割れ部改修 (自動式低圧エポキシ樹脂注入工法)

工程  
1. ひび割れ部をシール  
2. エポキシ樹脂注入  
3. ひび割れ部をシール  
4. エポキシ樹脂注入  
5. ひび割れ部をシール  
6. エポキシ樹脂注入  
7. 仕上げ清掃

・C-2. ひび割れ部改修 (Uカットシール材充てん工法: 可とう性エポキシ樹脂充てん)

工程  
1. シーリング材充てん  
2. Uカット (カッター入れ)・清掃  
3. フライマー塗布  
4. パテ処理 (ポリマーセメントモルタル)

・M-2. ひび割れ部改修 (Uカットシール材充てん工法: 可とう性エポキシ樹脂充てん)

工程  
1. シーリング材充てん  
2. Uカット (カッター入れ)・清掃  
3. フライマー塗布  
4. パテ処理 (ポリマーセメントモルタル塗)

・C-3. ひび割れ部改修 (シール工法同等)

工程  
1. 機械式弾性エポキシ樹脂注入工法  
2. 手動式弾性エポキシ樹脂注入工法 (内部)

・M-3. ひび割れ部改修 (シール工法同等)

工程  
1. 機械式弾性エポキシ樹脂注入工法  
2. 手動式弾性エポキシ樹脂注入工法 (内部)

・T-3. ひび割れ部改修 (シール工法同等)

工程  
1. 機械式弾性エポキシ樹脂注入工法  
2. 手動式弾性エポキシ樹脂注入工法 (内部)

・C-4. ひび割れ部改修 (ペランダ塗防水下地: Uカットシール材充てん工法)

工程  
1. Uカット (カッター入れ)・清掃  
2. シーリング材充てん  
3. フライマー塗布  
4. パテ処理 (ポリマーセメントモルタル)

・M-4. ひび割れ部改修 (ペランダ塗防水下地: Uカットシール材充てん工法)

工程  
1. Uカット (カッター入れ)・清掃  
2. シーリング材充てん  
3. フライマー塗布  
4. パテ処理 (ポリマーセメントモルタル)

・C-5. 欠損部改修 (露筋欠損部: 平面部)

工程  
1. 鉄筋処理剤塗  
2. 鉄筋ハツリ出し  
3. 鉄筋錆落とし、エアークリー  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・M-5. 欠損部改修 (露筋欠損部: 平面部)

工程  
1. 鉄筋処理剤塗  
2. 鉄筋ハツリ出し  
3. 鉄筋錆落とし、エアークリー  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・T-5. 欠損部改修 (露筋欠損部: 平面部)

工程  
1. 鉄筋処理剤塗  
2. 鉄筋ハツリ出し  
3. 鉄筋錆落とし、エアークリー  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・C-6. 欠損部改修 (露筋欠損部: 角部)

工程  
1. 鉄筋処理剤塗  
2. 鉄筋ハツリ出し  
3. 鉄筋錆落とし、エアークリー  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・M-6. 欠損部改修 (露筋欠損部: 角部)

工程  
1. 鉄筋処理剤塗  
2. 鉄筋ハツリ出し  
3. 鉄筋錆落とし、エアークリー  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・T-6. 欠損部改修 (露筋欠損部: 角部)

工程  
1. 鉄筋処理剤塗  
2. 鉄筋ハツリ出し  
3. 鉄筋錆落とし、エアークリー  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・C-7. 欠損部改修 (露筋部: セパレーター等)

工程  
1. セパレーター等ハツリ出し、切断  
2. エアークリー  
3. フライマー塗布  
4. 可とう性エポキシ樹脂充てん  
5. パテ処理 (ポリマーセメントモルタル塗)

・M-7. 欠損部改修 (露筋部: セパレーター等)

工程  
1. セパレーター等ハツリ出し、切断  
2. エアークリー  
3. フライマー塗布  
4. 可とう性エポキシ樹脂充てん  
5. パテ処理 (ポリマーセメントモルタル塗)

・C-8. 欠損部改修 (平面部: 深さ50程度)

工程  
1. フライマー塗布  
2. ポリマーセメントモルタル塗

・M-8. 欠損部改修 (平面部: 深さ50程度)

工程  
1. フライマー塗布  
2. ポリマーセメントモルタル塗

・C-9. 欠損部改修 (平面部)

工程  
1. 脆弱部除去  
2. 高圧水洗  
3. フライマー塗布  
4. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・M-9. 欠損部改修 (平面部)

工程  
1. 脆弱部除去  
2. 高圧水洗  
3. フライマー塗布  
4. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・C-10. 欠損部改修 (角部)

工程  
1. フライマー塗布  
2. ポリマーセメントモルタル塗

・M-10. 欠損部改修 (角部)

工程  
1. フライマー塗布  
2. ポリマーセメントモルタル塗

・C-11. 浮き部改修 (モルタル塗替え工法: 平面部)

工程  
1. モルタル浮き  
2. カッター入れ  
3. モルタル撤去  
4. エアークリー  
5. フライマー塗布  
6. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・T-11. 浮き部改修 (モルタル塗替え工法: 平面部)

工程  
1. モルタル浮き  
2. カッター入れ  
3. モルタル撤去  
4. エアークリー  
5. フライマー塗布  
6. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・C-12. 浮き部改修 (壁: 軒天: 注入口アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法)

工程  
1. モルタル浮き  
2. アンカーピン 9.16本/m<sup>2</sup>取付  
3. エポキシ樹脂注入 (25cc/本以上、かつ直径18cm以上)  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・M-12. 浮き部改修 (壁: 軒天: 注入口アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法)

工程  
1. モルタル浮き  
2. アンカーピン 9.16本/m<sup>2</sup>取付  
3. エポキシ樹脂注入 (25cc/本以上、かつ直径18cm以上)  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・T-12. 浮き部改修 (壁: 注入口アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法)

工程  
1. モルタル浮き  
2. アンカーピン (ステンレス) を使用  
3. エポキシ樹脂注入 (25cc/本以上、かつ直径18cm以上)  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・M-13. 浮き部改修 (床: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法)

工程  
1. モルタル浮き  
2. アンカーピン 8本/m<sup>2</sup>取付  
3. エポキシ樹脂注入 (25cc/本以上、かつ直径18cm以上)  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・M-14. 浮き部改修 (柱木: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法)

工程  
1. モルタル浮き  
2. アンカーピン 200取付  
3. エポキシ樹脂注入 (25cc/本以上、かつ直径18cm以上)  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・T-14. 浮き部改修 (柱木: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法)

工程  
1. モルタル浮き  
2. アンカーピン (ステンレス) を使用  
3. エポキシ樹脂注入 (25cc/本以上、かつ直径18cm以上)  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・M-15. 浮き部改修 (ピンネット工法)

工程  
1. 高圧水洗 (12MPa or 20MPa)  
2. 穿孔  
3. 特殊ピン (ステンレス: SUS304) をエポキシ樹脂で固定  
4. ポリマーセメント塗  
5. 繊維製メッシュを塗り込む  
6. ポリマーセメント塗 (工程等の詳細は、採用したメーカー仕様によるものとする)

・T-15. 浮き部改修 (ピンネット工法)

工程  
1. 高圧水洗 (12MPa or 20MPa)  
2. 穿孔  
3. 特殊ピン (ステンレス: SUS304) をエポキシ樹脂で固定  
4. ポリマーセメント塗  
5. 繊維製メッシュを塗り込む  
6. ポリマーセメント塗 (工程等の詳細は、採用したメーカー仕様によるものとする)

・M-16. 浮き部改修 (壁・軒天: 注入口アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法)

工程  
1. モルタル浮き  
2. アンカーピン 200取付  
3. エポキシ樹脂注入 (25cc/本以上、かつ直径18cm以上)  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

・T-16. 浮き部改修 (壁: 注入口アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法)

工程  
1. モルタル浮き  
2. アンカーピン (ステンレス) を使用  
3. エポキシ樹脂注入 (25cc/本以上、かつ直径18cm以上)  
4. フライマー塗布  
5. ポリマーセメントモルタル塗 (7mm/回塗)

年度	設計年月	工事名	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示
		R2.4	改修特記仕様書 (その8)		No. _____